

政務活動費 活動実績報告書

令和 6 年 2 月 7 日

花下主茂

件名	対話による地方議会活性化フォーラム
使途	1 調査研究費 2 研修費 5 要請・陳情活動費
金額	4, 0 0 0 円
期日	令和 6 年 1 月 2 7 日 (土)
場所	福岡県大野城市 福岡自治研修センター
目的	過去に他自治体にて議案として挙げたテーマを題材に、 模擬議員間討議を行うことにより、議会活性化を図る。
参加者	江藤 俊昭 (大正大学教授)、前田 隆夫 (西日本新聞論説委員)、菅太助(飯塚シチズンシップ推進会)、神吉 信之 (ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州) 他、県内外の各市町村議員など計 4 0 名
概要	<p>議会は、議論をして決定を下す場ではありますが、「審議」と言いつつ往々にして執行部への質問と応答だけの場になりがちである。</p> <p>八女市議会においても、議会基本条例の 4 条 1 項に「議会が言論の府であること及び合議制機関であることを十分認識し、議員間の自由な討議を重んじること。」と議員間討議についての条文はあるが、その実施については各委員会によってバラつきがあるように感じる。</p> <p>今回のフォーラムでは、他自治体の議会にて実際に議案として挙げた事案等を題材に</p> <p>A, 大野城市公民館施設の設置及び管理に関する条例の一部修正に関する条例の制定 (発議者 山上 高昭 大野城市議会議員、参考人 菅 太助 飯塚シティズンシップ推進会)</p> <p>B, 浄水場の更新か、廃止か。持続可能な水道事業に向けた選択 (発議者 奴間 健司 古賀市議会議員、参考人 前田 隆夫 西日本新聞論説委員)</p> <p>C, 合併に伴う図書館の統廃合 (発議者 盛 泰子 伊万里市議会議員、参考人 神吉 信之 ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州)</p>

	<p>上記の3テーマ（各2グループ）が提案され、私は議案Aについて参加。 議案説明→質疑→「議員間討議」にて論点整理→参考人招致→討論→議決 という模擬討論ワークを行った。</p> <p>質疑や討議の結果、私は議案Aに対し「付帯決議有りの賛成」と表明したが、「原案否決及び修正案多数賛成」で議決に達した。実際の議会でも、この議案は賛否が大きく分かれ、賛否を表明しない（退席）や欠席も複数出るなど、複雑な内容であったという。</p>
<p>所感</p>	<p>議員間討議においては、感情的にならないことは前提として、理性的かつ合理的な知見を基に論点を整理する。そして不足している情報があれば質疑や参考人招致まで実施した上で討議を行うことで、仮に自分の考えとは違う議決（可決・否決その他）になったとしても、市民に対して「どういった議論のもとにその結論に至ったか」を説明できるという気づきを得られた。</p> <p>一般質問は「中・長期的(今後自治体全体としてどういった財政運営をしていくか)」な視点が必要であり、一方で、議案審議は「短期的(自治体運営の上でより緊急性・即効性の高い)」な捉え方が必要であるのではないかと考える。つまり議案審議も、できる限り時間をかけてしっかりと審議する必要があるということを再認識することができた。</p> <p>引き続き「議員間討議」について、研究を深めると同時に、市議会の中でも積極的に提案・導入を図っていきたい。</p>